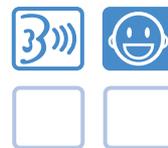


14-2

泳げますか



活動

なに 何ができるか質問する / 質問
こた に答える。質問した結果を
ほうこく 報告する。

かたち



時間

せつめい編

文-52 V(られ)ます (可能)
活-06 可能形

準備する物

使うことば

泳ぐ、辛い、料理、食べる、日本語*、本、読む、少し

どうもありがとうございました

談話の技術

- 会話を始める (~さん)
- 応答する (はい)
- あいづちをうつ (そうですか)
- 会話を終わる (どうもありがとうございました)

手 順

- 4、5人のグループに分かれる。
- 学習者はそれぞれノートに下のような表の枠を書き、自分も含めて同じグループの人の名前を書く。
- ほかの人ができるかどうか知りたいことを3つ考えて、例のように表の「できること」のところに書く。自分が「できる」ことには「」、「少しできる」ことには「」、「できない」ことには「x」を書く。
- グループの中で<モデルテキスト>(1)のように、表に書いたことを質問する。相手の答えを聞いて、3.と同じように「」、「x」を表に書く。
- <モデルテキスト>(2)を参考にして、グループ、またはクラスの前で結果を発表する。

できること	わたし	キムさん	Bさん	Cさん
(例) およげる		x	x	

モデルテキスト

(1) インタビュー

A : キムさん。

キム : はい。

A : キムさんはおよげますか。

キム : いいえ、およげません。

A : からい料理が食べられますか。

キム : はい、食べられます。

A : 日本語の本が読めますか。

キム : はい、少し読めます。

A : そうですか。どうもありがとうございました。

(2) 発表

わたしとCさんはおよげます。キムさんとBさんとCさんはからい料理が食べられます。みんな日本語の本が少し読めます。

バリエーション

(1) 学習者に考えさせる代わりに、教師が

いくつかできることの例を黒板に書い

て、学習者に選ばせる。

(2) 質問した結果をノートに書く。

(3) インタビューの結果を使って、<クイ

ズ例>のように言い、ほかのグループ

の学習者はだれのことか当てる。

<クイズ例>

ギターがひけます。

じょうずに歌が歌えます。

泳げます。

だれですか。

先生へ

- ・できるということがはっきりわかっていることを聞くとおもしろくないので、できるかどうか知らないことをインタビューするように指示する。
- ・会話のモデルとして、練習のまえにテープを聞かせるとよい。